

ローカルSDGsのデザイン

～ 地域循環共生圏のつくり方 ～



いま知るべきSDGs。ローカル×ビジネス×ソーシャル

○平成30年4月に閣議決定された第五次環境基本計画において、複雑化する環境・経済・社会の課題を踏まえ、複数の課題の統合的な解決というSDGsの考え方も活用した「地域循環共生圏(※)」が提唱されました。

○本シンポジウムでは、環境省による「地域循環共生圏」に関する基調講演の他、企業で取り組まれている「地域循環共生圏」の先進的な事例を御紹介するとともに、有識者や事業者などから情報提供いただき、「地域循環共生圏」ビジネスの創造に必要な視点や要素等についての議論を行います。

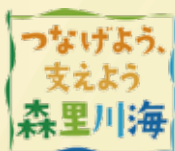
(※)「地域循環共生圏」とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方であり、地域でのSDGsの実践(ローカルSDGs)を目指すものです。

2021
3/26
14:30~17:00

参加無料

企業主体で実践する
地域循環共生圏のつくり方

●オンラインシンポジウム
※詳細は裏面をご参照ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

2021
3/26 (金)

14:30~17:00

企業が実践する 地域循環共生圏のつくり方

基盤事業:環境ビジネスの振興方策検討事業

日時:令和3年3月26日(金) 14:30~17:00

場所:オンライン開催 (後段で視聴URL記載しております)

主催:環境省

共催:ジャパンSDGsアクション推進協議会

参加費:無料

プログラム

①基調講演

「ポストコロナ時代に向けての地域循環共生圏(仮)」

中井 徳太郎(環境省環境事務次官)

②話題提供

i)「暮らしの変化と地方移住」~新潟県のローカルベンチャーの現場から~

伊藤 綾(きら星株式会社 代表取締役)

ii)「福井発 大麦ストロー 麦愁」

茂原 隆久(株式会社タナックス 執行役員 営業本部 兼 購買本部 本部長)

iii)「『奥永源寺地域』から見る『地域循環共生圏』の可能性」

前川 真司(株式会社みんなの奥永源寺 代表取締役)

③パネルディスカッション

「地域循環共生圏ビジネスのはじめ方:ビジネス創造に必要な要素や視点とは」

コーディネーター

岡村 幸代(環境省大臣官房環境計画課 環境経済政策調査室長)

パネリスト

川本 恭治(城南信用金庫 理事長)

鈴木 雅剛(株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役副社長)

森 雅俊(プラネット・テーブル株式会社代表取締役社長)

山内 幸治(NPO法人ETIC. 理事・事業統括ディレクター)

④閉会挨拶

松田 尚之(環境省大臣官房環境計画課長)

お申し込み お問い合わせ先

【オンラインシンポジウムの視聴方法】

- ・当日、以下URLにアクセスしてご視聴ください。
視聴用URL
<http://www.japan-sdgs-action-festival.jp>

※スマホをご利用の方は右記
QRコードからアクセス頂けます。



当日視聴専用

【お問合せ】

- ・セミナーの内容に関するお問い合わせ
シンポジウム事務局/株式会社野村総合研究所
グローバルインフラコンサルティング部 向井・由藤
E-mail: localsdgs2020@nri.co.jp
- ・Web会議ツール Zoomに関するお問い合わせ
株式会社イベント・レンジャーズ
E-mail: localsdgs202103@event-rangers.jp

【資料送付の申込方法】

- ・当日投影される資料の送付を希望される方は、専用フォームURLより、下記(ア)~(エ)をご記入ください。
申込専用フォームURL
https://www.e-toroku.jp/ticket/user/form/index?form_id=localsdgs202103

※スマホをご利用の方は右記
QRコードからアクセス頂けます。



資料送付申込専用

- ア)お名前(フリガナ)
- イ)電話番号
- ウ)電子メールアドレス
- エ)ご所属

【申込期日】令和3年3月26日(金)

【送付について】

3月29日(月)以降に資料を送付予定です。また、登壇企業の都合により、当日の資料と一部異なる場合や送付ができなくなることがございますので、ご了承ください。